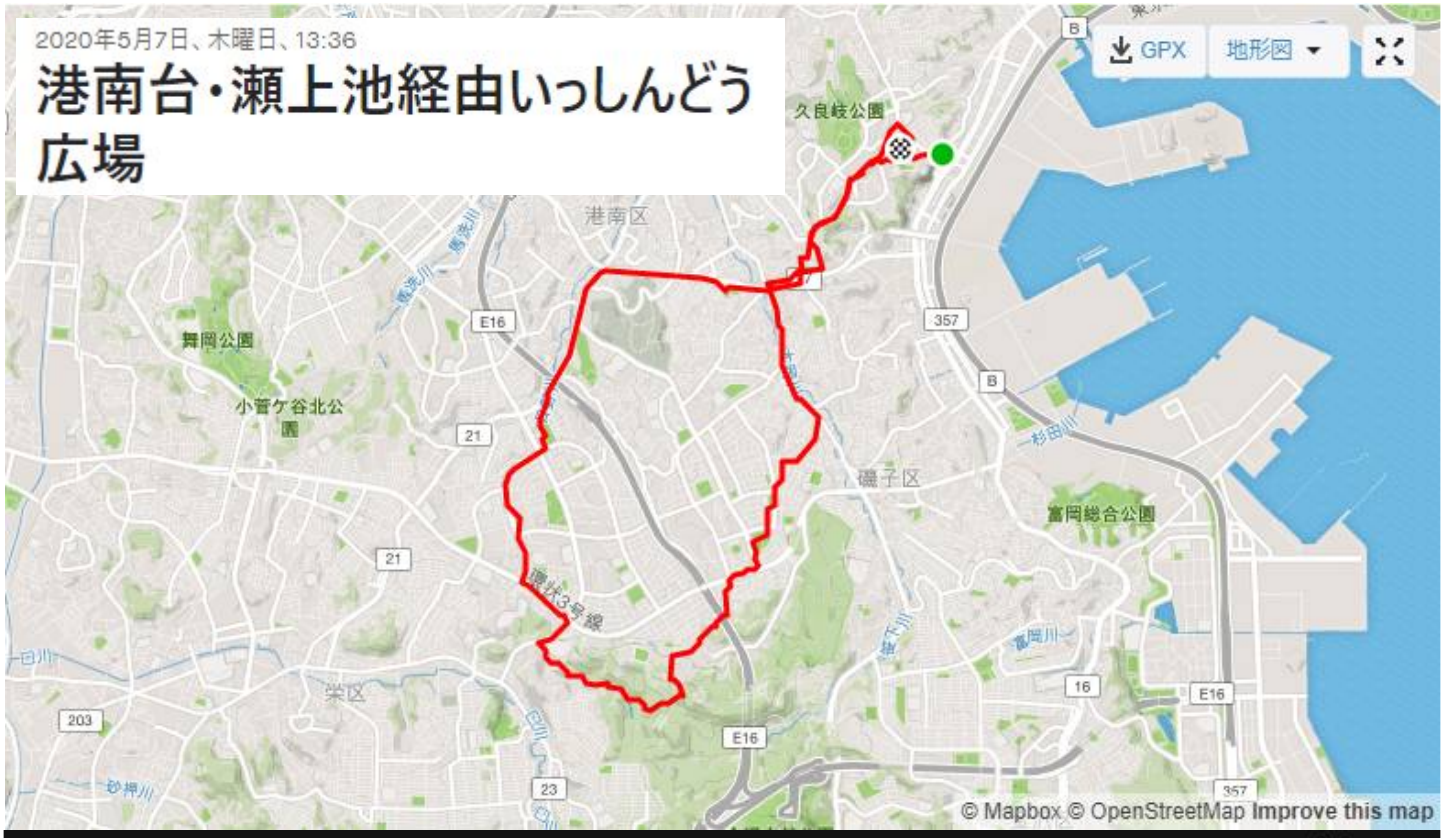

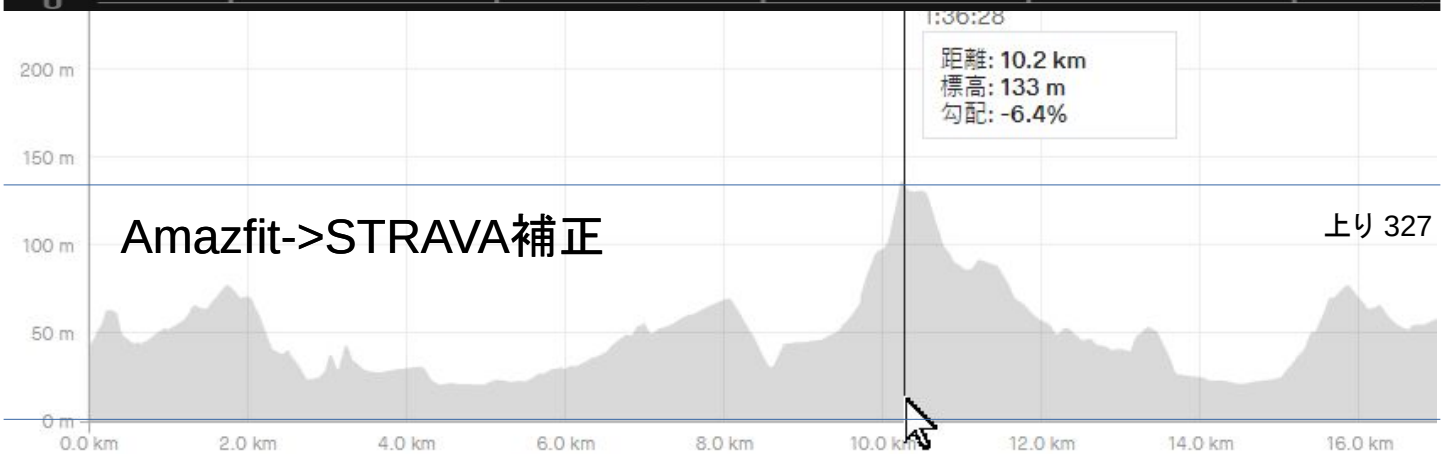

上段はAmazfit BIPで記録したデータをアプリのAmazfitで受信したもので、横軸は距離でなく時間。下段はアプリのAmazfitからSTRAVAに転送し、更に「標高を修正」したもの。

一方、ルート上の30地点の標高を地理院地図で確認して、累積上りを算出してみるとたまたまであろうがSTRAVAと同じ327mになった。それに対し、上段の図は最高地点、最低地点がそれぞれいくらかSTRAVAより上、下のように見えるが、累積上りが1.5倍になるほどの違いがあるようにはみえない。

Amazfit BIP の標高は気圧の影響で大きく変動するので、あくまでも分かっている地点との差分値のみの利用に限定するのが良いだろう。累積上りも、どうも計算方法に問題がありそうなので、STRAVAに転送し「標高を修正」した数値を使うのは良いだろう。